

大口町プロモーション通信

No.21

令和2年度 小学校へのプロモーション事業②

大口町のプロモーション事業の一つとして、大口西小学校と大口北小学校の総合の学習の時間に、大口町をより深く知り、発見し、さらに発信してもらえるよう、子どもたちに向けてプロモーション事業をおこなっています。今回は、「コミュニティバス」と「大口町でできるもの（かりもりと大麦）」についての授業の様子をご紹介します。

大口町のコミュニティバスを知ろう！

講師 コミュニティバスサポート隊

のみなさん・町民安全課

▽9月16日(水) 北小学校3年生

▽10月13日(火) 西小学校3年生

大口町のコミュニティバスについて、特徴や仕組みを学んだあと、コミュニティバスサポート隊の方からバスを支える活動についてお話を聞き、時刻表クイズを解きながら時刻表の見方を勉強しました。その後、実際にバスを見学して、中の様子やラッピングを見せていただきました。

今までコミュニティバスに乗ったことのない子どもたちからも、今回のお話を聞いて「バスに乗ってみたい」「バスのいいところを話せるようになった」という感想がありました。

「大口町でできるもの（特産物）農業と産業」かりもりのお話

講師 (株)大和屋守口漬総本家大口工場 鈴木栄造さん

▽10月27日(火) 西小学校3年生

▽11月13日(金) 北小学校3年生

大口町の伝統野菜である「かりもり」について、育て方や粕漬として製品になるまでを学習しました。

写真や、粕漬になるまでの瓜の実物を見たり触ったりして、興味を

もってお話

を聞くことが

できました



が、「おいしい」「また食べたい」と好評で、大和屋の鈴木さんからは「お家の人に、かりもりのお話をしてくださいね」というメッセージをいただき、大口町の伝統野菜を知るとともに、守ることにつながればと思いました。

「大口町でできるもの（特産物）農業と産業」六条大麦のお話

講師 福玉米粒麦(株) 社本さん 太田さん 筒井さん

▽10月27日(火) 西小学校3年生

▽11月18日(水) 北小学校3年生

大口町が愛知県で一番の六条大麦の生産地であることが紹介され、クイズを交えながら、六条大麦の生育から麦茶として製品になるまでの工程を学びました。その後、生の麦をフライパンで炒り、麦が炒りあがるまでの色や大きさの変化と香りを体

験し麦茶を試飲しました。麦茶の原料が大麦であること

を知り、実際に見て、飲んでみて「麦茶が

好きになっ

た」「家族で飲みたい」という感想が多くあり、六条大麦について子どもたちの心に深く残る授業となりました。

おおぐち宣伝部より

▽児童が、手をあげたり質問も多くの興味をもって授業を受けている姿が印象的でした。今後も、大口町の魅力を伝える事業として続けていきたいと思えます。

▽子どもたちが、自分の知らないことを知り、自分の知識として蓄え、次に伝えていけるとよいと思えます。

※「#大口町大好き」絵はがきコンテスト作品募集中！詳しくはおおぐち宣伝部インスタグラムへ

問合せ先 NPO法人まちねっと大口

☎22-66642

令和3年2月

9